

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

六人家族である意味

阿蘇中学校 3年 若宮 早希

梅雨入り間近の六月下旬。母は、ある病気にかかり入院しました。その日から父、妹、祖母、祖父と私の五人での生活が始まりました。

母はいつも明るく元気で、だからだろすることが嫌いで暇さえあれば掃除をしていました。

私は母が入院してから三つのことを感じ、学びました。

一つめは、私は母に頼りすぎているということ。日頃私は手伝いもせず、時間さえあればメールなどをしていました。また、いつも家が片付いている

ことが当たり前だと思っていました。私の家庭は祖父母も仕事をしているため、母が入院してからは家事を分担することになりました。しかし私は受験生でも中体連前でもあったため、学校生活と家事の両立というものがとても苦しく辛かったです。でも母は弱音を吐かずにいつも全力でがんばっていたことを思い出しました。そして私は自分の心のあまさに気付くことができました。

二つ目は、自分勝手な生活をせず、家族と助け合うことが大切だということです。今まで私は家の中で、助け合い、協力するということが全然できていませんでした。でも、母のいない五人で生活していくうちに、支え合いながら生活する大変さ、大切さを学ぶことができました。これからは、素直な心と行動を心がけて楽しい毎日を送っていくように思っています。

三つめは、命の大切さです。母が入院してから、私は、命について考えるようになりました。身の周りや、普段の生活の

中で、「死ね」という言葉を聞くこと、心がとてもずきずきと痛みました。母が聞いたらどう思うか。今までの私を反省するようになりまし。 (母が今、命と向き合っていて頑張っているのに)と思うと、恥ずかしくそして自分が情けなく思えて仕方ありませんでした。このようなことから、常に私も、命と向き合っていて生活しているという自覚をもつことができるようになりました。多くの人は、普段の生活の中で命と向き合う場面は少ないかもしれません。しかし、私は「家族の命、友達の命、そして、自分の命を大切に、守ってほしい。」ということを言いたいです。

母の入院をきっかけとして私たち家族の繋がりが、また絆の強さをたしかめることができたと思います。そして、六人家族である意味は、六人で支え合い、六人で暮らし、六人で生きていくことなのだと思います。その後母は、八月中旬に退院しました。そして今、また六人での生活が始まっています。

人権作文

平成23年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成23年度時点。

図書館
だより

図書館へ行こう!

図書館 おはなし会

読み聞かせボランティア「おはなしアップル」の皆さんによる楽しい会です。

●とき 4月28日(土)
午後2時～

●ところ 阿蘇図書館おはなしコーナー

子どもの読書 週間イベント

●とき 4月21日(土)
午後2時～3時まで

●ところ 阿蘇図書館内

●内容

▼展示 「おすすめ絵本50冊」

▼大型紙芝居 「へっこぎあねざ」

▼パネルシアター 「けんぼ」

▼スタンプラリー (午後2時～2時30分まで)

▼(仮)としよかんをた
んけんしよう!

(午後2時30分～)

移動図書館 巡回予定

●阿蘇地区
4月25日(金)

●一の宮・波野地区
4月26日(土)

※天候により中止する場合があります。ご了承ください。

※巡回経路は広報あそ3月号をご覧ください。

ゴールデンウィークの休館について

4月29日・30日、5月1日・3日・4日・5日は休館します。休館中の返却は、玄関横返却ポストへお願

いします。



【問い合わせ】

阿蘇図書館

☎322-0067

一の宮図書館

☎222-2916

子育て支援センター情報

4月・5月

市では3ヶ所の子育て支援センターを開設しています。どのセンターも自由にご利用いただけます。

のんびり広場

- 場所 波野保育園内
 - 開放日 月～金曜
 - 時間 9:00～14:00
 - 電話 24-2800
- ※お知らせ端末同番号

活動内容

4月

- 11日 困：散歩に行こう！
(よもぎ摘み)
- 18日 困：誕生会・計測日
よもぎ団子を作ろう！
(エプロン・三角巾持参) ※予約
- 27日 金：波野保育園の遠足に参加しよう！(9:30
荻岳集合→弁当・水筒・敷物・帽子持参)

5月

- 2日 困：作って遊ぼう！(鯉のぼり・かぶと作り)
- 10日 困：さつま芋の苗植え
波野ふれあい公園
(汚れても良い服・タオル持参)

※おやつ作りや親子クッキングなどの調理実習にはエプロン・三角巾(バンダナ可)が必要です。
※各所では育児相談を随時受け付けています。電話相談も可能です。
(一の宮子育て支援センターは育児相談専用☎22-3850まで)

すくすく広場

- 場所 一の宮子育て支援センター(りんどう保育園横)
 - 開放日 月～土曜
 - 時間 8:00～17:00
(土曜は12:00まで)
 - 電話 22-4539
- ※お知らせ端末同番号

活動内容

4月

- 12日 困：親子でかんたんクッキング(旬の野菜を使った一品おかず作り) ※おにぎりを持参
- 17日 凶：地域散策(10:30
出発→阿蘇神社まで行きます) ※ベビーカーを持参下さい
- 24日 凶：誕生会・計測日(大きな鯉のぼりを作ります)

5月

- 1日 凶：砂場で遊ぼう！(汚れても良い服装でご参加ください)
- 10日 困：エコクラフト(小物作りをしましょう) ※要予約
- 18日 金：わいわい子育て相談会(乳幼児健診医：江崎真澄先生による相談会)

ぴよぴよ広場

- 場所 阿蘇市子育て支援センター(三久保)
 - 開放日 月～金曜(第2土曜開所)
 - 時間 9:00～17:00
 - 電話 32-3843
- ※お知らせ端末同番号

活動内容

4月

- 11日 困：親子ふれあい体操(3B体操指導者：大塚美和氏 親子で楽しく身体を動かして遊みましょう)
- 18日 困：作って遊ぼう！(鯉のぼりやおもちゃを作って遊みましょう)
- 25日 困：誕生会・体験試食会
- 26日 困：あそびバ(阿蘇内牧ファミリーパーク)で遊ぼう！(10:30現地集合時間)

5月

- 2日 困：計測日・栄養相談
親子簡単クッキング会
- 8日 凶：子安河原観音祭に行こう！(10:30現地集合→弁当・水筒持参)

お元気ですか？食生活改善推進員協議会

大豆を使った料理体験

食生活改善推進員協議会波野支部

3月1日、波野中学校で1年生15人を対象に「大豆を使った郷土料理教室」を実施しました。

波野の大豆は田で獲れた大豆と一味違う「畑の味」で、味が濃く甘みも強いという特徴があります。子どもたちに地元の大豆の美味しさと、かつて、天皇陛下に献上された「献上大豆」であるということ伝えていたいと思

い教室を開きました。まず、子どもたちと一緒に次の手順で豆腐を作りました。

- ①前日から水に漬けた大豆をミキサーでつぶす(昔は石臼)
- ②沸騰させてできたものを絞って豆乳にする
- ③豆乳の表面に浮かんできた湯葉を子供に見せる
- ④にがりを入れて30分ほど型に入れる

次に、その豆腐で「ハンバーグ」「おから」「白菜の白和え」を作りました。

沸騰した豆乳の泡を見た生徒は「すごい、淡雪みたい」「こんな黄色い大豆が、あんな真っ白な豆腐になるんだね」と、驚く様子を見て、推進員は皆、感動しました。

今回は、昔ながらの作り方ということで、あえて材料の計量も所要時間も経験で培われた勘で行いました。子どもたちは、大豆という食材が豆腐という製品になる過程を体験したことで、食品への思いがさらに強くなったことでしょう。また、子どもの包丁さばきを見て、もっと家庭で大人と一緒に料理を作ってほしいと感じました。



お元気ですか？食生活改善推進員協議会